

モニタリング結果報告書（平成24年度上半期）

施設	津久井湖城山公園
指定管理者	公益財団法人神奈川県公園協会
指定期間	H21.4.1 ～ H26.3.31
施設所管課	都市公園課（厚木土木事務所津久井治水センター）

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

A

<判定理由>

上半期は季節外れの台風や低気圧の影響で、公園内に倒木等の被害が発生したが、未開園部分も含めた安全確保や緊急対応にも即応し、安全・安心な公園管理に努めた。遊具や案内板等の各種施設の管理についても利用者目線でのきめ細やかな管理を実施している。利用促進についても地域との連携をより強化し、事業計画以上の取り組み（津久井城開城祭、ナイトプログラム等）も多く、他の指定管理公園の手本となる成果を上げており、Aと判定する。

- A：提案を上回る取り組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取り組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取り組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取り組みを実施していない。また、提案どおりに取り組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	5月18日	○	○	○	無	
5月	6月11日	6月18日	○	○	○	無	
6月	7月10日	7月18日	○	○	○	無	
7月	8月10日	8月20日	○	○	○	無	
8月	9月10日	9月28日	○	○	○	無	
9月	10月10日	10月14日	○	○	○	無	

3 指定管理者が提案した取り組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	<p>■城山の歴史と自然を守り活かして未来へつなぐ</p> <p>①遺構の保全、地域からの聞き取りを通じて地域愛を育みます。</p> <p>②保存状態の良い中世城郭を継承し体験を通じて価値を共有して行きます。</p> <p>③体験を通じて自然環境を学び、共に生きている実感を促します。</p> <p>④中世津久井城の景観復元とプロセスへの参加による郷土意識の啓発を働きかけます。</p> <p>⑤県内・県外の施設や団体と連携し、公園の資源を活かします。</p>	<p>①遺構保全に配慮した維持管理を行う。今後は遺構周辺の草刈等を実施し、遺構を見せる工夫をしていく予定。</p> <p>②③④⑤今回初開催となる「津久井城開城祭」を、他地域の団体の協力の下、甲冑武者による合戦の再現を行い、200名を超える参加者に恵まれた。今後一大歴史絵巻イベントとして定着する可能性がある。</p> <p>③自然系の市民団体との定期的な意見交換の場を設け、自然環境に配慮した管理運営に繋げた。</p> <p>④昨年度休耕だった中世農園を再開し、アワの栽培を行い、中世の田園風景を再現した。</p> <p>⑤花壇ボランティアの研修として、県外の国営昭和記念公園の視察を実施し、花壇植栽の参考にした。</p> <p>⑤八王子市の郷土資料館や、東京都の埋蔵文化財センターと連携した現地見学会を実施し、他地域との関係機関の連携を深めた。</p>

	提案内容	実施状況
2	<p>■「地域の元気」に向けてみんなでつくる</p> <p>①多彩な人々の多様なニーズを受け止め、ともに拓げていきます。</p> <p>②様々な活用の方と機会を提供し、地域と共に育んでいきます。</p>	<p>①公園の資産を地域活性化に活用できるようまた、地域の連携を更に強化するために津久井・城山の両観光協会に加盟した。</p> <p>①地域の特産品である「津久井在来大豆」の栽培を昨年以上耕作面積を広げ、ボランティアの協力の下栽培を始めた。</p> <p>①今年度より麻布大学の学生によるムササビの調査活動が行われ、公園が積極的に支援を行った。</p> <p>②各分野（花壇、畑、歴史等）で活動していたボランティアの枠組みを統合、整理したSKTボランティアを今年度からスタートした。</p> <p>②セミプロの演奏者による「森のコンサート」を開催し、参加者に満足してもらえる質の高いコンサートになった。</p> <p>②「つくい逸店昼市」では地域と連携した観光ツアーに協力し、地域と公園のPRに努めた。</p> <p>②地元商工会の「津久井城ブランド」選定委員会のオブザーバーとして公園が加わり、地域のイメージアップに貢献した。</p>
3	<p>■多彩な園地を活用した出会いと交流</p> <p>①四季の彩りが水面を飾る、「行ってみたいくなる園地」を創ります。</p> <p>②地形変化を楽しむ道を保安し、自然と歴史が織りなす風合いを大切にします。</p> <p>③安全はすべてに優先させて、安心快適な利用を提供します。</p> <p>④イベント誘致を図り、積極的な公園利用を促します。</p>	<p>①水の苑地の拡大整備された花壇に、昨年以上の2万株を超えるルピナスを植栽した。また、ルピナスの植栽後は、千日紅12千株を新たに植栽し、地域の花の名所づくりに貢献した。</p> <p>①今年は新たに、水の苑地の噴水を水中花壇としてサンパチェンスを植栽し、水辺の彩りを多彩にした。</p> <p>②③連休前に爆弾低気圧の通過や、6月の台風4号等で倒木等の被害が発生したが、迅速に復旧処理を行い安全を確保した。</p> <p>②③登山道の位置表示板「城山みちあんない」の整備を行い、道迷い防止や緊急時の連絡先を明記し、事故防止に努めた。</p> <p>③改正後の安全基準に満たない遊具について、遊具メーカーと協働で規格に適合するよう改修を実施し、遊具の安全を確保した。</p> <p>③登山道3箇所に案内看板を設置し、登山情報のタイムリーな提供を実施した。</p> <p>③猛暑による熱中症対策として研修棟を「涼み処」と称してクールシェアの場を提供したり、パークセンター入口にミストシャワーを設置し、利用者へ涼感を提供した。</p> <p>③作業時の事故防止と植生保護の観点から、機械除草マニュアルを策定し、直営のみならず、再委託業者にも周知徹底した。</p> <p>④地元NPOと協働で子育て支援事業である「うたうたげ」を開催し、アートや影絵を使った初のナイトイベントを開催し、参加者から好評を得、活動と支援の場を提供した。</p>

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		129,756	—	—	129,756	129,756	0
予算額	前年度	129,900	—	—	129,900	129,900	0
	上半期	67,468	—	—	67,468	67,468	0
	下半期	62,432	—	—	62,432	62,432	0
	今年度	129,900	—	—	129,900	129,900	0
	上半期	65,742	—	—	65,742	65,742	0
	下半期	64,158	—	—	64,158	64,158	0
上半期実績額	4月	9,295	—	—	9,295	9,005	290
	5月	12,315	—	—	12,315	8,747	3,568
	6月	12,792	—	—	12,792	15,572	▲ 2,780
	7月	10,228	—	—	10,228	11,163	▲ 935
	8月	10,276	—	—	10,276	10,017	259
	9月	10,836	—	—	10,836	14,671	▲ 3,835
	今年度 上半期合計	65,742	—	—	65,742	69,175	▲ 3,433
	前年度 上半期合計	67,468	—	—	67,468	57,551	9,917
	対前年度上半期比				▲ 2.6%	20.2%	

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

③

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：300千円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	1,386	階段手摺り設置工（花の苑地）・モノレール修繕工
下半期	0	
合計	1,386	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	87,078 人	61,087 人	42.5 %
5月	39,938 人	46,688 人	▲ 14.5 %
6月	35,697 人	40,516 人	▲ 11.9 %
7月	31,844 人	36,410 人	▲ 12.5 %
8月	27,753 人	36,396 人	▲ 23.7 %
9月	29,203 人	37,511 人	▲ 22.1 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	255,000 人	251,513 人	260,608 人	▲ 1.4 %	▲ 3.5 %
今年度下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度上半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度上半期の利用者数が目標利用者数を下回った	○	今年度の上半期は新東名が開通したことにより、行楽客が遠出する傾向が影響したものと考えられる。
③ その他特記事項	/	

6 苦情・要望等の状況

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数	1	0	0	0	0	1
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況 該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
7月2日	再委託業者が園内の機械除草中に、飛び石により駐車中の車のドアガラスを破損する。	再委託業者に事故原因の究明と今後の再発防止策について書面提出を依頼。修理については、再委託業者で対応。原因は防石板の設置場所の不備。	再委託業者（シルバー人材センター）作業員の不注意による。
9月14日	管理スタッフが園内で機械除草中に、飛び石により公用車のドアガラスを破損する。	状況確認を作業員立ち会いで行ったが、本来、車を移動させて作業を行う場所であったのを、移動せずに作業をしたことが原因。スタッフ対策会議を実施した。機械除草作業マニュアルを策定し、安全徹底を指導。	周囲の安全確保を十分に確認せずに実施したことによる。

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

当公園の歴史と自然の資産をフルに活用した各種行事を開催し公園の利用促進に努めた。また、地域との連携強化にも努め、旧津久井・城山地区の地域活性化に公園が大きく寄与している。

当初事業計画には予定されていなかった「津久井城開城祭」は他地域の各団体の協力を呼びかけ、20名を超える甲冑武者による合戦風景の再現は圧倒するものがあつた。一大歴史絵巻となり地域的话题を集め、当公園の歴史資産をPRする効果は大きかつた。「収穫感謝祭」にならぶ当公園の代表的な祭りに発展することを期待したい。

コスト縮減については、指定管理者（公園協会）が今年度より実施した長期継続契約により再委託業務の経費圧縮に繋げた。

公園の安全・安心面からは、未開園部分も含めた広大な山岳エリアも含めて、登山道の安全確保や、災害時の緊急復旧対応が迅速に実施しており、指定管理者制度の効果を十分に発揮出来た。また、城山の多岐に渡る登山道に「城山みちあんない」や案内板を設置するなど、利用者の視点から道迷い防止に取り組み安全・安心の確保に努めている。

その反面作業中の事故が発生したことは残念であるが、事故原因の究明と対策を迅速に行っており、事故防止や植生にも配慮した作業マニュアルの策定を行い、今後の安全対策にも期待される。

今年の猛暑対策として、クールシェアや熱中症の観点から、「涼み処」の設定やミストシャワーの設置等のユニークな取り組みを行い、利用者からも高い評価を得ており、指定管理者としての創意工夫が感じられる。

総じて地域の各団体からの信頼も厚く、指定管理者として公園の維持運営管理に取り組む姿勢は、他の公園を上回り、職員の意欲や努力も高く今後の実績が期待される。